

初級マクロ経済学 I

精選模試

〈訂正〉

問 1 (4) 適切な選択肢がなかったため、全員正解とする。

[解答]

問 1

(ア) SNA (イ) 内閣府 (ウ) 国際連合 (エ) 2016 (オ) 2008

(カ) Gross (キ) 付加価値 (ク) 中間財(中間投入財) (ケ) 固定資本減耗

(コ) 三面等価 (サ) 財務省 (シ) IMF (ス) 金融収支 - 資本移転等収支

(セ) 第一次所得収支 (ソ) 第二次所得収支

(1) ② (2) ①

(3) 1. (GDI=) 雇用者報酬 + 営業余剰・混合所得 + 固定資本減耗 + 間接税 - 補助金

2. (S) $C + I + G + EX$ (T) MZ (U) $(MF + MZ)$

(4) 〈全員正解〉

(5) ②

問 2

[I] (1) 600 (2) 2.25 (3) 2.3

[II] (1) 450 (2) (i)貯蓄は増加する。 (ii)貯蓄は減少する。

(3) 利子率が上昇(減少)すると、貯蓄は増加(減少)する。

問 3

(1) $\Delta Y/\Delta G = 1/1-c = 2.5$, $\Delta Y/\Delta T = -c/1-c = -1.5$

(2) 均衡予算乗数は常に 1 となる。(∵ $\Delta G = \Delta T$)

(3) 2/3 (0.67 も可)

(4) 好況期において所得税(率)が上昇すると、乗数が小さくなり、景気変動の影響を緩和し経済を安定化させる。

問 4

(1) 個人が貯蓄を増やし消費を減らすことで資産は増えるが、国民全体が貯蓄を増やすと総需要が減少して国民所得が減少してしまい、また所得が減少して以前よりも貯蓄ができなくなるという状態。

(2) 家計は現在から自分が死ぬまでに得られる生涯所得を予測し、一生の消費計画を決定するという。まず学生の間は借入をし、現役世代では所得が消費を上回るので借入の返済や貯蓄を行い、そして定年後は貯蓄を切り崩して消費するという一連のサイクル。

(3) 平均 q について場合分けすると 3 通り考えられる。そして、各場合の望ましい設備投資は次の

とおりである。

{ 平均 $q > 1$ → 正の投資活動
平均 $q = 1$ → 0 の投資活動
平均 $q < 1$ → 負の投資活動

平均 $q > 1$ であれば、企業は現存の資本ストックを用いて生産し、その価値以上の収益を得ることが可能である。よって、そのような企業は設備投資を行って、さらに資本ストックを増加させて利益を伸ばすことができる。

平均 $q < 1$ であれば、投資家は株式や企業の負債を購入するなど、企業価値に等しい金額を支出することによって企業を買収することができる。その後、企業が所有する資本財を売却すれば、資本の再取得費用に等しい収入が得られる。つまり、資本の使用価値よりも売却価額の方が大きいため、売却することで利益を得るのである。これは投資家にとっては正の利益であるので、他の投資家も同様の行動をとり、経済全体ではマイナスの設備投資が促進される。

いずれの場合も、 q が 1 になるまで続けられる。

〈模試について〉

模試を解いてくださった方、まずはお疲れさまでした。そして、見ず知らずの私が作った問題を多くの経済学部生が関心を抱いてくださることに感謝申し上げます。ありがとうございました。

模試について全体的に述べると、問 4 では即答できる方は決して多くないと思います。しかし、もしも配点が大きい場合(30 点ぐらい?)、まったく対策せずに突っ込むと大火傷を負う問題です。いずれも授業で扱っているはずの内容ですので、不明な部分はレジュメ等で確認してもらいたいです。思っていたよりも計算する問題が多くないと思われる方もいるかもしれませんが、経済学を勉強する

ひとが陥るのは、計算は瞬殺できるのに「説明」ができない状態だと思います。これでは本末転倒なので、まずは口頭でもいいから上手く説明できる程度まで理解すべきです。単純な計算問題が欲しかった人は、図書館で参考書を読み漁れば五万と出てきますので、各自で確認してほしいです。

いずれも、授業の範囲を逸脱することなく、レジユメ等に沿って作題しました。まずはこれまでの授業内容を振り返ってみてください。

良問愛好者